

この夏出来るようになったこと

五年 加藤さん

毎年夏になるとプールのじゅ業があります。私はプールが大好きなのでとても楽しみでした。そしていよいよプールのじゅ業が始まりました。私が想像していたプールのじゅ業はビート板を使ってばた足をするじゅ業でした。始まってみるとビート板は使わずに、クロールという泳ぎ方を教えてもらうことになりました。最初は、「えっ」と思いましたが、とりあえず先生の話を聞いてやってみようと思いました。

初めはプールに下半身をつけて手の動かしか方、水のかき方を教えてもらい練習しました。クラスの皆で横にならんでやりました。次に、水に顔をつけられる人は、ばた足と手を使って泳ぎました。息が続くところまで手と足を使って泳ぐのは、おずかしくてあまり泳げませんでした。

最後に、息つぎの仕方を習いました。

「き本は、一、二、三、四の時に顔を横に半分だけ出して息をするんだよ。」

と先生が教えてくれました。私は、先生の言うとおりに息つきをしながらクロールをしてみました。だけど、息つきをしたしゆんかんに体がしずんでしまいました。私はびっくりしてどうしてだろうと思いました。周りを見てみると皆もしずんでいました。それを見た先生が、

「息つきをして体がしずんでしまう人は、顔を横に出さずに正面に出しているからだよ」と教えてくれました。そして、皆にお手本として、泳いで、息つきをしている姿を見せてくれました。たしかに先生は、しっかり顔を横に向けて息つきをしていました。私も先生のように顔の向きに注意してやってみました。最初は、先生のように上手く出来ませんでした。だが、何度も何度も練習をしていくうちに、一回、二回と息つきが出来るようになりました。先生からも、

。

「泳ぎ方がきれいだね。」
とほめられました。私はとてもうれしくて、
もつとがんばろうと思いました。しばらくす
ると、先生から、
「息つきが出来ているから、皆の前で泳いで
もらってもいいですか。」
と言われました。私は皆のお手本として泳げ
ることがうれしかったし、上手に泳げている
んだな、と自信がつかまりました。皆の前で泳ぐ
のはきんちようしたけれど、最後まで泳ぎき
ることが出来ました。たくさんはく手をもら
ってとてもうれしかったです。
家に帰って今日あった出来事をお母さんに
話しました。お母さんは、
「皆の前でお手本になれてよかったね。クロ
ールも泳げるようになってすごいね。」
とほめてくれました。そして、
「お姉ちゃん達は、学校のプールで泳げなか
ったんだよ。先生に熱心に教えてもらった
おかげだね。」

と先生に感しゃしました。私も一つ一つていねいに泳ぎ方を教えてくれた先生に、ありがとうの気持ちでいっぱいになりました。

そして、水泳記録会の当日。いよいよ本番の日です。私たちは、クロールで二十五メートルを泳ぎきることが目標です。練習の成果もあって、皆、二十五メートルを泳ぎきりました。ついに、私の順番がきました。心ぞうがドキドキしてとてもきんちようしました。初めは、練習したとおりにも上手に泳げていたが、半分くらいの所で息つぎに失敗してしまい、水が鼻に入って思わず足をついてしまいました。二十五メートルを泳ぎきることが出来なかったのがくやしくて泣きそうになりました。来年は、絶対に二十五メートルを泳ぎきるぞ、と強く思いました。

夏休みに入り、家族でいなわしろ湖へ湖水浴に行きました。お父さんとお母さんにクロールで泳いでいる所を見せようと思いましたが、少し波があつて、プールで泳いだ時

。

のように上手く泳げませんでした。でも、「泳げるようになってすごいね、センスあるね。」とお父さんにほめられました。それから、お父さんも泳いで見せてくれましたが、バシヤバシヤとおぼれているような泳ぎ方で、家族皆で、おもしろくて笑ってしまいました。「平泳ぎなら上手に泳げるぞ。」とお父さんが笑って言いました。そしてお母さんも泳いで見せてくれました。お母さんの泳ぎは、先生のようにきれいなクロールでした。「ママ、すごい。」と、私もお父さんもお兄ちゃんも言いました。お母さんが泳げるなんて私はびっくりしました。家族で湖水浴に来て、うきわを使わずに泳げるようになるなんて夢みたいです。この夏、私ができるようになったことは、クロールで泳げるようになったことで、来年の目標は二十五メートルを泳ぎきることです。